



HEIWA PAPER

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)



2020年2月13日

上場会社名 平和紙業株式会社

上場取引所

東

コード番号 9929 URL <http://www.heiwapaper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清家 義雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 高木 修

TEL 03-3206-8501

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,960	2.1	99	35.8	184	18.8	111	25.0
2019年3月期第3四半期	14,266	1.6	155	34.4	226	18.0	148	18.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 143百万円 (100.9%) 2019年3月期第3四半期 71百万円 (70.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	11.57	
2019年3月期第3四半期	15.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,627	8,749	49.6
2019年3月期	17,717	8,702	49.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 8,749百万円 2019年3月期 8,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		5.00	10.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,400	1.5	260	2.1	344	0.8	238	5.4	24.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	10,116,917 株	2019年3月期	10,116,917 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	474,195 株	2019年3月期	474,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	9,642,803 株	2019年3月期3Q	9,677,436 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な内需に牽引され高水準だった企業収益にやや足踏み感があるものの、増加基調にある設備投資と雇用・所得環境の着実な改善のもとで、個人消費の増加傾向が続いており、緩やかに回復しています。

紙パルプ業界におきましては、5月の大型連休や台風等の自然災害、天候不順による需要減に加え、供給不足による品薄等も影響し、紙及び板紙の荷動きは低調でした。一部に消費税増税前の駆け込み需要も散見されましたが、紙・板紙合計での国内出荷量は前年同四半期実績を下回る結果となりました。

このような経済状況のもとで当社グループは、主力としている高付加価値特殊紙の販売拡大に向けて、デザイン・クリエイティブ部門への販売促進活動を強化、高機能な技術紙や高級パッケージ用途商品の開発と拡販、新規顧客の開拓に注力いたしました。また、SDGs・脱プラスチック等の社会ニーズに向けた新規提案・新商品開発に努めるとともに、物流・営業・内勤業務における高効率ローコストオペレーションの着実な取り組みを進めております。これにより、商品区分のうちファインボードとベーシックペーパー及び技術紙において前年同四半期実績を上回りましたが、消費税増税による需要減退の影響もあり、主力のファンシーペーパーや高級印刷紙等が伸び悩み、当社グループ全体の業績では前年同四半期実績を下回りました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高139億60百万円(前年同四半期比2.1%減)、経常利益1億84百万円(同18.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億11百万円(同25.0%減)となりました。

<当社の商品別の概況>

当社グループは、和洋紙の販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり、当社の和洋紙卸売業の売上高は連結売上高の90%超を占めるため、当社の商品別の概況を記載しております。

品目別	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	3,463	25.8	3,037	23.1	△12.3
ファインボード	1,537	11.4	1,556	11.8	1.2
高級印刷紙	3,054	22.8	3,018	22.9	△1.2
ベーシックペーパー	3,687	27.5	3,841	29.2	4.2
技術紙	1,516	11.3	1,557	11.8	2.7
その他	157	1.2	152	1.2	△3.6
合計	13,417	100.0	13,163	100.0	△1.9

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、デザイン・クリエイティブ部門への継続的な提案活動や各種商品説明会等開催の結果、高級パッケージや製袋用途等が堅調に推移しましたが、書籍装丁用途や東アジア向けの輸出が減少し、売上高は30億37百万円、前年同四半期比12.3%の減少となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、化粧品や食品等の高級パッケージ向けの販売量が減少しましたが、各種販促物や商業印刷用途が堅調に推移し、売上高は15億56百万円、前年同四半期比1.2%の増加となりました。

[高級印刷紙]

独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、パッケージ用途が堅調に推移しましたが、名刺・封筒等の紙製品や書籍装丁用途の販売量が伸び悩み、売上高は30億18百万円、前年同四半期比1.2%の減少となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、塗工紙、色上質紙の印刷用紙、包装用紙、各種板紙等で構成されるベーシックペーパーは、商業印刷物、書籍、製袋、医療品パッケージ用途や封筒等の紙製品用途の販売が堅調に推移し、年初に行われた印刷用紙等の価格修正の影響もあり、売上高は38億41百万円、前年同四半期比4.2%の増加となりました。

[技術紙]

通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、合成紙や耐水撥水性機能紙が低調に推移しましたが、各種工業品製造用工程紙、偽造防止用紙等の販売量が増加し、売上高は15億57百万円、前年同四半期比2.7%の増加となりました。

[その他]

家庭紙、紙加工品、製紙関連資材他で構成される当区分では、ペーパータオル等家庭紙の販売量は増加しましたが、製紙関連資材や各種紙加工製品の販売量が減少し、売上高は1億52百万円、前年同四半期比3.6%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて90百万円減少して、176億27百万円となりました。主な要因は、電子記録債権2億49百万円、商品1億33百万円、投資有価証券76百万円が増加したものの、現金及び預金3億6百万円、受取手形及び売掛金2億71百万円が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億37百万円減少して、88億77百万円となりました。主な要因は、短期借入金70百万円が増加したものの、未払法人税等1億12百万円、賞与引当金68百万円が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて47百万円増加して、87億49百万円となりました。主な要因は、利益剰余金15百万円、その他有価証券評価差額金35百万円が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2020年3月期の連結業績につきましては、以下の通り見込んでおります。

売上高	19,400百万円	(前期比 1.5%増収)
営業利益	260百万円	(同 2.1%増益)
経常利益	344百万円	(同 0.8%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	238百万円	(同 5.4%増益)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,973,829	2,667,768
受取手形及び売掛金	5,536,361	5,265,065
電子記録債権	1,505,084	1,754,468
商品	3,689,553	3,823,313
貯蔵品	50,337	55,997
その他	97,856	102,277
貸倒引当金	△680	△673
流動資産合計	13,852,341	13,668,217
固定資産		
有形固定資産	898,342	911,823
無形固定資産	87,064	98,076
投資その他の資産		
投資有価証券	2,514,051	2,590,306
その他	369,235	385,898
貸倒引当金	△3,517	△27,079
投資その他の資産合計	2,879,769	2,949,125
固定資産合計	3,865,175	3,959,025
資産合計	17,717,517	17,627,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,990,480	5,927,606
短期借入金	2,103,176	2,173,183
未払法人税等	114,716	1,743
賞与引当金	118,878	50,105
その他	270,434	259,057
流動負債合計	8,597,686	8,411,697
固定負債		
退職給付に係る負債	208,455	217,086
資産除去債務	65,883	66,711
その他	143,475	182,212
固定負債合計	417,814	466,010
負債合計	9,015,500	8,877,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	3,860,751	3,875,907
自己株式	△218,636	△218,677
株主資本合計	8,081,347	8,096,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614,331	649,660
為替換算調整勘定	6,338	3,412
その他の包括利益累計額合計	620,669	653,073
純資産合計	8,702,016	8,749,535
負債純資産合計	17,717,517	17,627,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	14,266,697	13,960,024
売上原価	11,648,667	11,345,859
売上総利益	2,618,029	2,614,165
販売費及び一般管理費	2,462,612	2,514,395
営業利益	155,417	99,769
営業外収益		
受取利息	2,194	5,462
受取配当金	46,007	54,444
受取賃貸料	33,093	33,488
その他	4,876	6,429
営業外収益合計	86,171	99,824
営業外費用		
支払利息	5,345	5,710
賃貸用資産減価償却費	3,328	3,327
為替差損	2,471	1,148
その他	3,513	5,111
営業外費用合計	14,659	15,297
経常利益	226,929	184,296
特別損失		
固定資産除売却損	965	6,738
災害による損失	2,122	—
PCB処理費用	—	3,506
特別損失合計	3,088	10,244
税金等調整前四半期純利益	223,841	174,051
法人税、住民税及び事業税	67,303	38,171
法人税等調整額	7,679	24,296
法人税等合計	74,982	62,467
四半期純利益	148,858	111,583
親会社株主に帰属する四半期純利益	148,858	111,583

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	148,858	111,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103,407	35,329
為替換算調整勘定	26,230	△2,925
その他の包括利益合計	△77,177	32,403
四半期包括利益	71,681	143,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,681	143,987

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。